

# すずの郷新聞

## 第128号



オシャレを楽しまれ、多趣味で社交的だった黒川律子さん。すずの郷に入居され10年もの長きにわたり、私たちと一緒に過ごしていただきました。面会ができないコロナ禍ではありますが、人生最期の1週間は、息子さんご夫婦と共に、かえがえのない時間を過ごしていたことがきました。今月のすずの郷新聞は、コロナ禍での看取り。黒川律子さんと共に過ごした10年を振り返ります。

### かえがえのない日々 〜最期までその人らしく生きる〜

「10年と1ヶ月」これは黒川律子さんがすずの郷で私たちと一緒に過ごした年月です。この月日の中には文字に起こせない程の思い出があります。ほんの一部ですがご紹介させて頂きます。

まずは旦那様とともラブラブだったことです。ご主人が来訪されると律子さんは一目散に駆け寄られ、お二人で肩をならべお部屋



ご主人と過ごす日々  
毎月のように外食デートを楽しまれました

### 施設長のひとこと

過ごしやすしい季節となりました。新緑や満開のツツジ、田園風景に、のどかな雰囲気を感じています。今回ご紹介する黒川律子さんは最期までオシャレで気品のある方、自分のことより私たちのことを想ってくださる方でした。その心意気に尊敬と感謝の気持ちでいっぱいです。

まで一緒に支えあいながら、歩かれるお姿を思い出します。それを見て、いつも羨ましいなあ〜とても素敵なお夫婦だと思っていました。また、お洒落な律子さんのお部屋には、本当にたくさん洋装やアクセサリーがありました。朝起きると、洗面の前で丁寧にお肌のお手入れをされ、化粧粧をし、髪をとかしヘアピンでとめ、着飾り、毎日の生活をされておられました。「このカーディガンはね〜」と既製品の衣装にご自分でビーズで飾りをつけたことなど教えてくださいました。

すずの郷のサークル活動では「婦人会」に所属され、年末のお餅つきでは鏡餅を丸めたり、イベントではカレー屋さんを出店して活躍されました。婦人会の恒例旅行で田懸神社に行った時は、御神体を触るときに、恥ずかしそうにはにかんでおられた律子さんのお顔が浮かびます。

律子さんの好物は、若者が好みそうなジャングルフードでした。特にお好み焼き、ハンバーガー、焼きそばなどを好まれていました。アパートへお買い物に出掛けたときは、必ずみたらし団子を買って帰り、お部屋で「あなたも



すずの郷の婦人会でも旅行やイベントに大活躍の律子さん

食べなさい」と二人でこつそり「美味しいわねえ〜」といただいたことを覚えていいます。

律子さんは趣味も多彩で、刺繍画、絵画、水墨画、俳句など芸術センスも抜群でした。ぜひ皆さまにも見て知っていただきたくて、昨年「律子さんの作品展」を開きました。みんなから「素晴らしい!」「すごいっ!」と言われ、律子さんと一緒に私まで自分のことのように嬉しかったことを思い出します。



8020運動で市長さんから賞状をいただきました  
すずの郷に来られた市長さんとの交流もありました

### 今月のベストショット

好きなお菓子やお洋服などが届く娘様からの定期便を楽しみにしておられる氏永一子さん。「お返事を書きませんか?」と提案すると、書ききれないほどの感謝の気持ちを書きおねがいました。愛情たっぷりの定期便を楽しみにしておられます。



おしゃれをして色々なところに  
出掛けました

この数か月は年齢とともに眠っておられる時間が自然と多くなってきました。そんな生活の中でも「ありがとうね」「ありがとね」と、最後までおっしゃられる律子さん、心から感謝の気持ちでいっぱいになりました。ベツトから起き上がれなくなってしまうの1週間は、お仕事終わりの息子さんとお嫁さんが毎日会いに来てくださり、同じ時を過ごされ、大好きなリンゴジュースをスポンジに含んで唇をぬぐって下さいました。そんな最期1週間の親子の時間は、律子さんにとっても本当に幸せな時間であったのではないかと感じました。またすずの郷で律子さんとの出会いを与えてくださったご家族さまにも心から感謝申し上げます。

律子さん! 「10年と一か月」大切な時間を私と一緒に過ごしてください本当にありがとうございます。

(野々部由美子)



息子さんと過ごす最期の時

### 荒田たてるさん

お誕生日にしたいことを伺うと「農協に野菜の苗を買いに行きたい」と言われた荒田たてるさん。コロナ禍のため、今回はスタッフが農協へ行き、たてるさんのご希望のパセリ、プチトマト、オクラの苗を購入しました。気持ちよく晴れた日に畑へ!!野菜つくりとお料理が得意なたてるさん。スタッフと協力して苗を植えました。たてるさんから「苗を植えるときは、基礎をしっかりと植えないと枯れちゃうからね」とご指導をいただきました。「野菜を自分で植えて、自分で作ったものは特別美味しいからね」「どんなのができるか楽しみができたよ!」笑顔でお話されました。

来年の誕生日には、たてるさんと一緒に農協へ行き、野菜の苗を選んでもらいたいです。(沢柳美里)



### 宮田スナヲさん

104歳の誕生日を元気に迎えられたスナヲさん。元気の秘訣はもちろん牛肉です!!誕生日の日は、できたてアツアツのすき焼きを召し上がられました。フロア一杯にお肉の焼けるいい匂いが。「わ～ええ香りやねえ!!」と嬉しそうに上手に卵をといて、お肉につけて召し上がられました。「あ～美味しい」とニコリ。来年は105才…再来年は106歳…いくつになっても好きなものを美味しく食べる幸せを味わってほしいです。(小林友記子)



### 内田和枝さん

1月20日に64歳の誕生日を迎えられた和枝さん。「誕生日に食べたいものはありますか?」とお聞きすると、いつもは口数の少ない和枝さんが「焼肉!!」と答えられました。テーブルに焼肉をご用意すると「分からんもん…」と言いながらもご自分で手際よくお肉を焼いて完食していただきました。昔、手料理を作っておられた頃の和枝さんの姿を垣間見れた誕生日となりました。(川口真知子)



### 青山弘さん

奥様と一緒に入居されている青山弘さん。お買い物が大好きな弘さんは、毎年の誕生日は奥様と一緒に買い物に出掛けておられましたが、コロナ禍になってからは、誕生日当日は1日、施設内で奥様と過ごされています。娘さんから届けられる豪華なお弁当と一緒に食べられ、午後からは奥様と一緒に大好きなお風呂に入られるのが定番になりました。揚げ物が大好きな弘さんのために、トンカツでトンカツタワーを作った年もありました。娘さんから届くお弁当、大好きな揚げ物、大好きなお風呂に入っていたら誕生日が、弘さんの思い出の1ページになっていると嬉しいです。(佐久間恵美)



### その人らしい誕生日

すずの郷では、大切な誕生日をその人らしく、一人一人違った形でお祝いしています。好きな食べ物、好きな物、好きな人と祝う誕生日。コロナ禍であっても、その人らしい誕生日を過ごしていただいている皆さんの誕生日をご紹介します。

### 塚本辻夫さん

塚本辻夫さん97歳の誕生日に大好物のエビフライを97本!!朝から手作りで揚げ、歳の数のエビフライタワーでの完成に大喜び!わらべの子供たちから絵をもらい、ケーキを囲んで皆でにぎやかに祝いし心温まる誕生日となりました!(市来久枝)



### 兼松愛子さん

可愛いものやキレイなものが大好きな兼松愛子さん。そしてもっと好きなのが人と一緒に過ごすことです。愛子さんのお誕生日にはオシャレの好きな愛子さんの為にプレゼントをした可愛い髪飾りでおめかしをしていただき、ケーキの上に乗った可愛い動物さんを見て「わあ、勿体ない」と言われながらも召し上がられてとても嬉しそうにされていました。愛子さんが一番嬉しかった瞬間は写真を撮るために皆が近くに集まってくれた時だったようです。「わあ皆が来てくれて嬉しい、ありがとう」と感極まった様に言われていました。本当に人に囲まれることが嬉しそうで、喜んでいただけました。(木野哲矢)



### わらべ館 坂巻ようすけくん

わらべ館のお誕生日は、今一番好きな事や大好きなものをテーマにしてお祝いしています。坂巻ようすけ君のお誕生日には、プラレールの回転ずしをしました。新幹線が大好きで、お家ではプラレールを組み立てたり、わらべ館でも木の線路を組み立てるのが得意なようちゃん。回転ずしにもハマっていたので(笑)プラレールの回転寿司でお祝いをしました。当日は朝から「どんな線路にする?」と、線路を作るところからスタート!!お寿司屋さんになりきってお寿司電車を走らせるところまで張り切ってやってくれました。もちろん大好きなお寿司も沢山食べて笑顔いっぱい1日になりました。(佐藤和子)



### 上田キヌエさん

上田キヌエさんはすずの郷に入居されて10年を迎えます。キヌエさんの誕生日は毎年仲のよい職員と一緒に外食するのがお決まりでした。しかし、この2年はコロナウィルスの影響により外食ができていません。昨年の11月のお誕生日には、外食こそ出来ませんでしたがいつも一緒に過ごす職員が心を込めて作った料理とお誕生日饅頭を用意させて頂きました。毎年一緒にお祝いしてくれる職員と過ごす誕生日をこれからも大切にしていきたいです。(木野哲矢)

